

アシモフ『鋼鉄都市』のあら すじ

takaidos

アシモフ。

ロボット・シリーズ②。

1953年発刊。

ファウンデーションでもそうだったように、アシモフの人類の未来の予想と向かうべき方向の検討。

『ファウンデーション』に出て来る、惑星オーロラ、ダニール・オリヴォー、イジャイラ・ベリが出て来る。

アシモフの考える人類の未来は、ロボットによる、ロボット三原則による人類の統治。それにより過去起きたような飢餓、貧困、戦争を無くすこと。

<目次>

- 1.警視総監との会話
 - 2.高速自動走路
 - 3.靴屋での突発事件
 - 4.家族への紹介
 - 5.事件の分析
 - 6.寝室の囁き
 - 7.宇宙市探訪
 - 8.ロボットについての討論
 - 9.宇宙人による解明
 - 10.私服刑事の午後
 - 11.高速走路の逃走
 - 12.ロボット技術官の意見
 - 13.機械への移行
 - 14.名前の力
 - 15.陰謀者の逮捕
 - 16.動機に関する質問
 - 17.計画の結末
 - 18.捜査の終わり
- 解説/福島正実

<あらすじ>

西暦2xxx年。

(宇宙人のオーロラ人の平均寿命が350歳ということから、宇宙へ進出開始年から少なくとも350年以上経過している。

『われはロボット』では2030年頃には星間ロケットが発射されているので、西暦2380年以降の話)人類が移民して作り上げた宇宙国家が地球を制圧して25年。

人口は80億人に達していた。

50の宇宙国家の総人口は55億人。中でもオーロラ人の平均寿命は350歳。

ガソリンはすでに枯渇していたが、代わりに油性のイースト菌が使われていた。

地球から送り出した初期惑星移民は、50に及ぶ宇宙国家群を作り出し宇宙人(スペーサー)として地球や地球周辺にも文明を発展させて来た。

彼らの技術は高度でロボットが彼らの生活を支え(ロボット万能文明)、サブ・エーテル型小型武器には地球人はもはや勝てなかった。

防御遮蔽の発明によって、地下に建設されたシティ文明が栄え、地球上には800数十以上のシティが栄え各シティには平均1000万人の人が住んでいた。

各シティは半ば独立した自治権を持ちイースト菌と水耕農園で完全な自給自足態勢を備えていたが、食糧不足に苦しみ始め、過激な懐古主義者も現れた。

シティ内は高速自動走路(Express Way.自動で動く歩道、ただし毎時60マイル!)が張り巡らされていた。

地上には鉱山や牧場があったが、農園の開墾や水路作りはロボットが行なった。

また地表には25年前から宇宙人の住むドーム(Space Town.宇宙市)があった。← 人類のシティ。

宇宙市は移民を防ぐため、強力な電磁波障壁と移民法、関税査察法を適用した。

地球外法権もあった。

逆に彼らの高度なロボットは人間のシティにも浸透して来ていた。

人間とロボットの共存は炭素と鉄の融合ということで、C/F計画と呼ばれていた。

隔壁暴動を起こした市民たちを大量検挙したあと、宇宙市は規制の緩和をしていた。

しかし懐古主義者、反ロボット運動の暴動は治まらなかった。

人はロボットによって職を奪われ、等級によって持てる子供の数が制限されたり、公共食堂の代わりに自宅で食事出来る回数も決められていた。

そんな中、ニューヨーク・シティのそばにある宇宙市で宇宙人が殺害される。

ライジ刑事は、宇宙人製ロボットのオリヴォーといっしょに捜索するよう司令を受ける。

通りかかった靴屋での客とロボットのトラブルは暴動発生前にオリヴォーが片付ける。

ライジはRオリヴォーを家に連れて行くが、妻は彼が噂のロボットと疑う。

ライジとRオリヴォーは操作のために宇宙市に入り、宇宙人ファストルフ博士に会うが、ライジはエンダービーとのテレビ会議の前でオリヴォーこそ殺されたはずのサートン博士だと言う。さらに宇宙人(スパーサー)は地球に対する支配体制を高めるために暴動を起こさせて制圧する気だと言う。

オリヴォーは自分の腕の中身を見せて自分がロボットであると証明する。

ファストルフ博士は宇宙人が地球に関わろうとする理由として、地球の未来を懸念する。地球は人口が増加して人類全体が栄養失調・飢餓を起こさないように食生活を送ることが難しくなりつつある、シティもそれぞれで自給自足するのはもう不可能という。

またファストルフは宇宙国家では肉体的・精神的に劣る子供は殺して人工制限をしている、人々は寿命を延ばして(たとえばファストルフは現在163歳)いる、過疎化はあるものの、新たな植民惑星を求める必要がない、という。

地球はそうした人工制限がないので寿命延ばしたら、より人工過剰になってしまう。そこで地球人はもっと宇宙に拡がることを考えるべきと言う。

ライジはダニエルから宇宙人殺人現場にエンダービー警視総監が居たことを告げ、脳波分析もしたが、彼は宇宙人を殺すような人間でないことを知らせる。

ライジは署に戻ってエンダービーに話を訊くが、彼は、ダニエルが人間に熱線銃を向けて威嚇したことを信じない、ファストルフ博士が人類の人口増加の心配をしていることや、エンダービーに対してした脳波検査など知らないという。

ライジはダニエルを連れて、共有食堂に行き食事摂る。しかしダニエルはそこに靴屋にいた8人を見つけ、2人は暴動で袋叩きにされないように、高速歩道を使って、原子力発電所、ついでアパートに逃げ込む。そこに息子のベン(ベントリイ)も辿り着く。

ライジはロボット工学博士のジュリゲルに、ロボット三原則に従わないロボットや、人間に似せたロボットの話を訊く。

ジュリゲルはダニエルがロボットであることに気づく。

ライジの妻ジェシイがやって来て地下組織の集会やリーダー格の人物について話す。

ライジとダニエルは酵母工場に行き、酵母学者のフランシスを逮捕する。

ライジはフランシスに対して宇宙人ファストルフ博士が主張していたように、宇宙植民の推進を説く。

その頃、Rサミイが殺されていた(破壊されていた)。

ライジとダニールはフランスを暑に連行し、エンダービーに尋問される。

Rサミイを殺したのは誰か？

凶器は、ウィリアムバーグ発電所から持ち出されたアルファ噴射機だった。

Rサミイは何者かにそれを自らの電子頭脳に照射するように命令されたらしかった。

Rダニールは宇宙人が宇宙市を閉鎖して宇宙に帰ることを告げる。

Rダニールは最初から地球人の誰かに、これまでと違って物質主義でないかたちで宇宙植民を推進する強力な支持者になってもらうつもりだった、それがライジ・ベイリその人だったと告白する。

いまや地球人が自らの意志で余剰人員を宇宙へ送り出す決意し、ロボットの導入も進める流れが出来ると宇宙人たちは確信したという。

宇宙人サートン博士殺害は親族や友人にとっては残念だが、宇宙人が帰還するためのきっかけになったという。

ライジはエンダービー警視総監と話す。

エンダービーはライジに宇宙人殺人の罪を着せようとするが、ライジはエンダービーが真犯人であると看破する。

エンダービーはRサミイに熱線銃を持たせて宇宙市にいっしょに入り、サートン博士の家に行き、宇宙植民を推進するために作られたダニールを破壊しようとするが、誤ってサートン博士を殺してしまったのだった。

そして秘密がばれそうになったため、Rサミイも破壊する。

ダニールはエンダービーに宇宙植民を推進してくれれば、サートン博士殺害は赦すという。

ライジは自分の息子が成長したら宇宙植民学校に入れる、そのときはダニールにもいっしょに息子の教育を頼みたいと言って、ダニールと腕を組んで警察署の部屋を出て行く。

<登場人物>

ライジ・ベイリ:ニューヨーク市警C-5級私服刑事。イライジャ・ベイリ。妻ジェシーとひとり息子がいる。

R・サミイ:人間の警察のアンドロイド。

ジュリアス・エンダービー:警視総監。ライジの上司。反宇宙人地下組織の幹部でもある。

Rダニール・オリヴォー:宇宙人の作ったアンドロイド。全く人間に見えて人間のものより高性能で人間に見える。

動力には原子力が使われている。

ヴィンス・バーレット:十代の警察官。ロボットに職を奪われる。

ジェシイ:ベイリの妻。ジェゼベル。2002年にライジと会う。

ベントリイ:ベイリの息子。8歳。

ロイ・ネメヌウ・サートン:殺された宇宙人。

宇宙国家連合:宇宙人国家の連合。

TBI:Terrestrial Bureau of Investigation. 地球連邦検察庁。

セント・ファストルフ:博士。宇宙市に入って会った宇宙人。事件依頼人。

アンソニー・ジュリゲル:ロボット博士。ワシントン在住。広所恐怖症。

フィリップ・ノリス:市警の同僚。一年先輩。

チェン・ロウ:市警。十年勤務。C-3級。

ライレーン・ミレーン:立体テレビ・ダンサー。ロボットという噂がある。

フランシス・クロウサー:イースト工場の酵母学者。

<メモ>

原発に逃げ込んだベイリ。

「原子力発電所のどこかで、毎日1ポンドの核物質が消費されてゆくのだ。

そして、放射性物質の副産物—いわゆる死の灰がほとんどひっきりなしに、圧搾空気の力で鉛のパイプを伝って排出される。

パイプはシティから10マイルの距離、1マイルの深さの海底の谷間に通じているのだ。

ベイリは時おり、海底の谷間のすべてが死の灰で埋まってしまったら、どういうことになるだろうと思うことがあった。」

図書館の本はブック・フィルムというもので読む。

非アセニアン・ロボット:ロボット三原則に従わない、人間に危害を加えることの出来るロボット。

エネルギー。

太陽エネルギーを蓄積する装置を水星軌道に打ち上げ、蓄積したエネルギーを指向性ビームで地

球に送る。

地球の海を凍らせて衛星軌道に打ち上げ、陸になった海底に増えた人類を住まわせる。

モトスピラル(自走階段)-エスカレーター。

案内棒:建物の中で持っているると目的の部屋の方向を温度差で示す。

アルファ線噴射機:長さ2インチ、幅0.5インチ。電子回路を破壊する。

ライジがエンダービーにサートン博士殺しの現場を映写機を使って説明する時、立方体の3D映写機を使う。

映画『プロメテウス』でも研究者がキューブ状の投影機を使ってプレゼンをしていた。